

令和4年11月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和4年11月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和4年11月25日（金） 13時30分～15時15分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

渡辺正範教育長、庭野三省委員、浅田公子委員、廣田公男委員、渡邊奈々子委員

3 説明のため出席した者

教育文化部長（鈴木政広）、教育総務課長（富井陽介）、学校教育課長（細木久成）、指導管理主事（藤田剛）、生涯学習課長（樋口具範）、文化財課長（石原正敏）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：渡邊委員、庭野委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

（特に意見なく了承した）

② 報告第1号 第1回市立中学校のあり方検討委員会について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

富井教育総務課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

・いろいろな意見が出されたようで、会議の内容と進め方としては、いい雰囲気に進んでいると思う。ただ、各地域に検討委員会や考える会ができているが、あり方検討委員会の議論と交わることができるよう、歩み寄るような検討の仕方にしていけないといけないのではないか。

富井教育総務課長

・あり方検討委員会には、各地域の地域自治組織やPTAから推薦いただいた方など、多様な方がいらっしゃる。今後、第2回では先生の配置基準や体制など説明さ

せていただこうと思っている。こういった現状の勉強を重ねることで、委員各位の情報共有と理解が進んでいき、一つの方向性が醸成されていくと考えている。

(以上の質疑のあと了承した)

③ 報告第2号 令和4年度十日町市博物館の休館日の変更について

④ 報告第3号 令和4年度「森の学校」キョロコの休館日の変更について

渡辺教育長

・事務局の説明を求めた。

石原文化財課長・樋口生涯学習課長

・資料に基づき説明

廣田委員

・休日と祝日が重なる場合はどうなるのか。

石原文化財課長

・祝日はお客様がお出でになるので、休日と祝日が重なった場合は開館し、翌平日を休日とさせていただきます。

庭野委員

・博物館は、あまり大地の芸術祭と関わりを持たなく、これが疑問である。博物館の広場でも作品になってもいいぐらいだと私は思うが、そういうものとリンクしていくべきではないか。

石原文化財課長

・今回、大地の芸術祭期間中については、大地の芸術祭パスポートをお持ちの方は100円引きというような形でやったところ、おおむね1,000名ほどの方がパスポートを使って入館した。今後どのように連携していくかは、検討させていただきたいと思う。

(以上の質疑のあと了承した)

(3) 議決事項

① 議案第1号 令和4年度(令和3年度実績)十日町市教育委員会事務の管理・執行状況点検・評価報告書の承認について

渡辺教育長

・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

山岸教育総務課長補佐

・資料に基づき説明

廣田委員

・まず1ページの「学力の向上」だが、小学校5年生までは上がっているが、傾向として、5年生を頂点に後は下がっている。このところ同じ傾向が見られているということは、学習内容が6年になると難しくなり、中学校になって遅れていくということがあると思う。研修をやるのは非常にいいことと思うが、もう少しポイントを絞って、何が問題で、どこをどうしたらいいのかという研修をやったほうがいいと思う。

次のページの「不登校・いじめの減少」であるが、不登校は今まで減少傾向であったが、ここ2年は連続で増加している。評価にあるようにコロナの影響なのかもしれないが、なぜ増えたのか研究していただきたいと思う。

それから、いじめは認知件数が何件あったということが問題ではなく、そのいじめによってどういう問題が生じたかというのがやはり問題だと思う。今不登校の原因というのは、必ずしもいじめばかりではなく、むしろいじめは割合が少なく、別の問題があると思うので、このことも計画を立てる時点で検討したほうがいいのではないかな。

最後に質問だが、今の同じページの取組の状況に学校不適應の児童生徒に対して自立支援を行ったというふうにあるが、不適應の児童生徒に対して自立支援を行ったというのは、自立というのは何からどういうふうに自立することになるのか、教えてほしい。

細木学校教育課長

・まず、最後のご質問の自立支援ですが、今は不登校の子供に、学校に登校させることだけを目的とはしておらず、適應指導教室や校内にある保健室などの別室で学習しながら、自分の進路などを決めて進んでいけるような支援をしている。それはあくまでも完全に教室に来て、ほかの子たちと一緒にということだけを目的にするのではなくて、その子の次のステップに向かうモチベーションを主眼に置いた支援である。

学力向上の特に中学校の部分だが、全てコロナの影響にはしたくないが、委員がおっしゃられる面もあると思われる。今は不登校やいじめとかも含めて、ピンポイントで学力の向上だけを狙うような取組もあるが、子供たちの居心地のよい学級、子供たちが自分の気持ちや自分の意思で学べる学級づくりというのをベースにして、自分の考えを自由に話し合っ自分を高めていくような、そういう人間関係の中での学力向上や不登校・いじめの対応に力を入れている。WEBQUの心理アンケートの結果を見て、今後の取組でどう変わっていくか研究していきたい。

浅田委員

・3ページの「特別支援教育の充実」だが、取組の状況と結果・成果に「発達障害通級指導教室の新設」とある。自分が保護者だったときに支援クラスというのがあって、ふだんは普通のクラスにいて、授業の際に通う学級があったが、それとは違うのか。

細木学校教育課長

・それとは少し異なり、この発達障害通級指導教室というのは、社会的な人間関係などを学んだりするところで、若干学習指導もプラスして行われることもあるが、基本的には人との関わり方やコミュニケーションの取り方などを学習する教室になっている。

庭野委員

・10ページ「公民館活動の推進」の評価委員意見には「通学合宿は見直しの時期だ」とある。確かに今コロナ禍だが、こういう合宿体験というのは価値があるも

のだと私は思う。同じ釜の飯を食うというのは大事な事だと思うので、残してほしいと思う。このままいくと、今度は1泊2日の修学旅行もなくそうと、そういう方向に行ってしまう。

樋口生涯学習課長

- ・通学合宿は公民館に宿泊する地域もあり、地域の方々の負担が多い。そうではなくて、例えば中里でやっている例で言うと、津南の育成会さんと共同でキャンプ場に宿泊するなどの事業をやっている。そういったものに代えていくというのも一つの方法だと考えている。今までどおり地域の方々にご負担をかけてというのもなかなか難しくなっているという事情があり、見直しをしたほうがいいということである。

(以上の質疑の後、決定した)

② 議案第2号 令和4年市議会第4回定例会提出補正予算案の承認について

渡辺教育長

- ・議案第2号を上程し、事務局の説明を求めた。

各課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・スポーツ振興課の件で、私初めて実はクロアチアピッチで妻有F Cの最後の試合見に行き、そしてまたこの間の大地の芸術祭の閉会式での彼女たちの動きに驚き、すごい姿だと思って感動した。この妻有F Cには市から補助とか何か出ていないのか。

庭野スポーツ振興課長

- ・スポーツ振興課からは補助金等特別な支援はしていない。

(以上の質疑の後、決定した)

5 その他

① 12月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

② 次回の教育委員会の開催日時

- ・12月定例会 12月23日（金）13時30分から開催することを決定した。

③ その他

渡邊委員

- ・教育委員会に共有したいことが2点ある。地元中学校で体操服についている名前を、今後はつけないことにしようという方向に今向かっている。何がポイントかという、名前がついていることによって今まで体操服がリユースできなかった。同じ名字の人に

しか渡せないというのがあって、保護者は、これをすごく望んでいたと思う。今回たまたま保護者から出たこの案が非常に良かったので、共有しておけばほかの学校も同じようにできる可能性があると思い報告した。

それともう一点で、保護者の方から相談があったが、部活動がないからこの中学には行きたくないが、部活動を理由に学区を移動できないと言われ、どうしたらいいかと相談受けたことが何回かある。小学校からリトルリーグとかでやってきた子は、中学校の部活でそのスポーツをやりたいけれど、その部活がないとなると、自分の今まで頑張ってきたことを引き継げる場所がない。もう既に部活でやっている子とはどんどん差が開いていく。自分がやりたいスポーツができないということは、非常にかわいそうで、やりたいスポーツの部活があるところの中学校になぜ行けないのか。そういう問題がある中で、教育委員会として何の措置も取らないのが私自身は疑問で、それをちょっと皆さんに共有したい。

細木学校教育課長

- ・居住区外の学校への移動は学区外就学になるが、学区外就学の条件には部活を目的としたものが、条件には入っていないというのが現状である。部活動の選択で、やはり学校によってはやりたい種目がないなど、課題として出ていたので、今後の部活動の地域移行に関してはそういったところも解消していく一つの手だてになるのではないかと考えている。

体操服に関しては、基本的には学校での判断になる。刺繍やワッペンなどで名前が付いていると思うが、防犯上名前を見せないという流れもあり、変えていく必要があるのではないかと考えている。

以上で、15時15分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記